

災害に備えて(防災教室)



1年生の家庭科の授業で、防災教室を行いました。昨年は東部地区生涯学習振興会と連携し地域の方にも参加していたり、フリー参観日として、保護者にも見学していただいていたのですが、今年度はコロナ禍で中学生のみの実施となりました。北広島市役所総務部防災危機管理課、防災担当官の西澤様より、講義を行って頂きました。その中では、避難所運営ゲーム(Doはぐ)、備品組み立て体験を行いました。生徒は、実際に災害が起こった時に何ができるのか、何をしなければいけないのかを真剣に考えて活動していました。災害直後の避難生活



でも中学生が普段から行ってきたことを生かし、自分たちにできることを見つけ積極的に行動し、避難生活の大きな力となったという実例も多いようです。万一に誰よりも先に動ける人になってほしいと思います。



17 イベント番号[2]
災害対策本部です、毛布200枚が01時に到着します。荷降ろしする場所を決めておいてください。

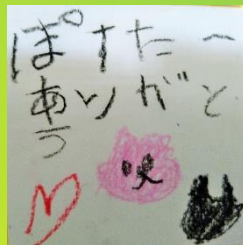
左のようなカードの課題に対して、「〇〇にしよう!」と協力しながら考えていました

2月の活動の様子

「Doはぐとは」・・・避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

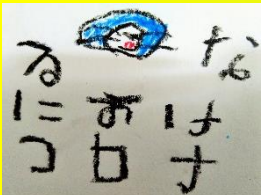
園児達からのうれしいお礼

3年生の保育実習で制作した作品のお礼の寄せ書きが先日学校に届きました。写真とコメントが書かれています。「ありがとう」といったお礼の言葉や「コロナにまけるな」といった励ましの言葉、自分たちの遊んでいる様子の絵などが模造紙にびっしり書かれています。



鏡文字や文章のかき方などから文字を書くことに慣れていない年齢にも関わらず、お礼を一生懸命伝えようとしていることが手に取るようにわかりました。コロナ禍でなかなか例年通りの活動はできないのですが、今後も

工夫して教育活動を進めていきたいと思えます。



園児達からお礼と励ましをいただきました。ありがとうございます。

修学旅行に向けての準備

2年生は、4月14～16日の2泊3日で修学旅行に行きます。行き先は岩手県盛岡市を中心とした東北地方です。コロナ禍で、関東方面の修学旅行が難しい実態もありますが、そういった理由とは別に東北地方を行き先とする学校も増えています。今回行き先とする岩手県は東北の最大面積を誇るほか、奥州藤原氏が三代で築き上げた世界遺産である平泉(中尊寺・毛越寺等)、花巻には宮沢賢治、雫石の小岩井農場、遠野に伝わる妖怪等の逸話など魅力満載です。現在は、充実した研修となるように、みんなで協力しながら自主研修の行程表等を計画しています。

